



Hakuhodo DY
media partners

News Release
博報堂DYメディアパートナーズ 広報室

2023年5月29日

**AaaS、20万人の生活者パネルデータを GPT モデルで活用
様々な条件下での広告/メディア効果のシミュレーションを可能に**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅、以下 博報堂DYメディアパートナーズ）は、AaaS（※1）に格納されている生活者パネルデータを、OpenAI 社が提供する ChatGPT（※2）に採用されている GPT モデルに学習させ、広告/メディア効果シミュレーション環境の研究開発を開始しました。この仕組みを順次 AaaS のソリューション群に組み込み、従来よりも高次元に生活者の行動パターンに基づいたコミュニケーションプランの作成を可能にします。

AaaSTM

Advertising as a Service

本プロジェクトでは、OpenAI 社が開発・公開し世界的に注目を集めている ChatGPT の API を活用しました。ChatGPT で用いられている GPT モデルに代表される大規模言語モデル（Large Language Model：LLM）は、広範なデータセットからパターンを学習することで、高度な文章生成や対話タスクを実現する能力を持っています。今回、多様な生活者の人格の設定により行動を再現したり、メディア接触や情報探索に関する膨大な知識に基づいた推論が行ったりできる可能性に着目し研究開発を進めています。

今回、博報堂DYメディアパートナーズは、自社が保有する20万人の大規模調査パネルに対する独自のアンケート結果から得たプロフィールやメディア接触行動、興味関心や価値観などの情報を GPT モデルに入力・学習させることにより、様々なコミュニティや条件での広告/メディア・コンテンツ効果のシミュレーションを目指します。本プロジェクトでは都度目的に応じてターゲットとなるパネルの選定を20万人の中から行うとともに、入力するプロフィール情報を設定し、動的にシミュレーションを実行していきます。

これにより、生活者行動パターンを加味した「テレビ視聴などの広告/メディア接触」「態度変容などの広告/メディア効果」の予測結果に基づいたメディアプラン作成から、「生活者の態度変容の背景となったインサイト、仮説の探索」などが可能になると想定しています。本プロジェクトの成果は、TV/デジタルをはじめとするメディア効果を最適化する AaaS の各ソリューション群に組み込んで提供いたします。

また本プロジェクトではマルチエージェントによる情報伝播に関する産学連携での研究をあわせて推進してまいります。

なお、博報堂D Yグループでは上記の活動にあたって、生成 AI が人間のクリエイティブな業務へのシフトを推進することと、個人情報やプライバシー、著作権の問題への配慮が必要であるということの両面を考慮し、グループ各社共通の利用ガイドラインを設け、運用ルールを策定しました。さらに投入する情報に特殊な処理を施すシステムを構築することで、機密性を確保しつつ LLM の能力を最大限に活用できる環境を整備していきます。

博報堂D Yメディアパートナーズは、博報堂D Yグループの各広告事業会社と協同して、さらなる技術開発や実証実験を積極的に実行し、広告主の事業目標の達成に貢献するとともに、最新技術の活用事例やノウハウを継続的に発信することで、社会のDX化に貢献いたします。

(※1) 広告業界で長らく続いてきた「広告枠の取引」によるビジネス（いわゆる「予約型」）から「広告効果の最大化」によるビジネス（いわゆる「運用型」）への転換を見据えた、博報堂D Yメディアパートナーズが提唱する広告メディアビジネスのデジタルトランスフォーメーションを果たす次世代型モデル。

「AaaS™」は博報堂D Yメディアパートナーズの登録商標です

(※2) OpenAI 社が開発・公開した人工知能チャットボット。広範なデータセットからパターンを学習することで、高度な文章生成や対話タスクを実現する能力を持っています。

本件に関するお問い合わせ

博報堂D Yメディアパートナーズ 広報室 山崎、戸田 Tel : 03-6441-9347

Mail : mp.webmaster@hakuhodody-media.co.jp